

平成25年5月30日

杉並区議会議長  
井口 かづ子 様

道路交通対策特別委員会  
委員長 小川 宗次郎

### 道路交通対策特別委員会活動経過報告書

道路交通対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 活動年月日

平成25年3月1日 報告聴取

#### 2 活動経過

##### (1) 東京外かく環状道路について

都は、平成25年2月5日に、第6回杉並区における外環の地上部街路に関する話し合いの会をあんさんぶる荻窪で開催した。主な内容は議事録の確認、外環の地上部街路の一部区間事業化についてとのこと。

議事録の確認では、発言者を表すA B Cの記号の振り方に誤りが多い、話し合いごとに振られる記号が変わるためわかりにくいなどの指摘があり、今後、発言者の表記は固定した記号とすることが確認されたとのこと。

外環の地上部街路の一部区間事業化に対しては、立ち退き建物の棟数、用地買収と都道の機能補償などへの疑問が提起され、立ち退きの棟数については、範囲の設定に誤解があったことが明らかになり、用地買収については、外環本線と外環の2の2つの都市計画線にまたがる関係権利者の生活再建を図るため、外環本線事業に合わせて、外環の2のうち1キロメートル区間に限って事業化したとの説明がされたとのこと。

以上のとおり、報告を聴取し、質疑応答を行いました。

##### (2) 平成24年度交通安全啓発活動について

交通安全教室の実施状況について

全区立小学校の原則4年生を対象に、テキストを利用したルール・マナーの学習及び自転車走行の実技講習を行った。また、区立中学校では、3年間で全学年を対象に、スタントマンが交通事故を再現する「スケアードストレート」といわれる安全教室を実施した。高齢者、保護者、事業者、一般を対象とした交通安全教室は、保護者会などを利用して実施したとのこと。

自転車安全利用証の発行状況について

交通安全のルール・マナーに対する意識啓発を図るため、全区立小学校4年生対象の交通安全教室終了後、希望者に発行しているとのこと。

その他の啓発・支援活動について

子ども用自転車ヘルメットのあっせん販売を、10月と3月の年2回、区内サミットストアの協力を得て行っている。また、高齢者運転免許証自主返納支援制度として、免許証を自主返納した区民へ、PASMOやSuicaなどのIC乗車券を支給するとともに、住民基本台帳カードの交付手数料免除を行っている。なお、警察署等でも自主返納者に対し、有効期限がなく身分証明書として使用可能な運転経歴証明書が発行されるようになったが、手数料1,000円が必要なため、区独自の支援を引き続き行っていくとのこと。

その他広報活動として、区役所ロビーでの自転車利用のルール・マナーに関するパネル展示、自転車安全利用啓発パンフレットの配布、広報すぎなみ、区公式ホームページへの各種情報の掲載等を行っている。また、春と秋の交通安全運動期間中は、警察、商店会、交通安全協会等と協力し、街頭キャンペーンを行っているとのこと。

以上のとおり、報告を聴取し、質疑応答を行いました。

以上